

□主な内容

【第 49 回EST創発セミナー in 陸前高田を開催します！】

11 月 29 日(金)に、EST 交通環境大賞で大賞(環境大臣賞)を受賞した岩手県陸前高田市で「新モビリティが導く誰もが気兼ねなくお出かけできる脱炭素社会」と題して、第 49 回 EST 創発セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています！

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu79.html>

【第 9 回 おでかけ交通博 2024in つるおかを開催します】

10 月 4 日(金)に山形県鶴岡市において、地域公共交通の確保・維持・改善や交通まちづくり、新たなモビリティサービスの実装などに精力的に取り組む方々が集い、トークセッションやポスターセッション等を通じて成果や悩みを共有するおでかけ交通博を開催します。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/newpage/ks-odekake-kaisai.html>

【EST メールマガジンの読者アンケートを実施しています】

EST メールマガジンの改善に役立てるため、読者アンケートを実施しています。アンケートへのご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/56h1W7kyPg1e3dBY7>

□目次

2. ニュース／トピックス

- 第二回国土交通省「交通空白」解消本部を開催しました！ ～「地方の足」「観光の足」の状況と今後の取組み等について～【国土交通省】
- 第23回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】
- 「鉄道車両における次世代バイオディーゼル燃料の実証・評価」について営業列車で走行試験を行っています ～国内初の100%次世代バイオディーゼル燃料による走行試験の実施～【国土交通省】
- 船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RO-RO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】
- 第49回EST創発セミナーin 陸前高田〔東北〕【陸前高田市、国土交通省東北運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団】
- 9 月 20 日は「バスの日」です ～バスに親しんでいただくための様々なイベントを開催！～【中部運輸局】

- 全国初！自家用車による夜間の移動を補完する実証実験「庄原版ナイトタイムデマンドプロジェクト」開始！【中国運輸局】
- 2024 年度自動運転バス一般試乗（市街地ルート）未来のバス『自動運転バス』の実証実験を実施しました【常滑市、愛知県、アイサンテクノロジー、知多乗合、SOMPO リスクマネジメント、東海理化、ティアフォー、日本工営都市空間】
- 瀬戸内の離島における初の自動運転バスの走行実証を開始 ～20 年先の小豆島をつくるプロジェクト～【土庄町、JTB、小豆島交通、schemeverge、BOLDLY】
- 予約型乗合タクシー＜シティモビすずか＞の実証運行を行っています【鈴鹿市】
- シェアリングモビリティ事業について【宇都宮市、LUUP】
- 中野地区における次世代モビリティ実証事業について【双葉町】
- J「電動キックボードシェアリングサービス」の社会実証を 3 か月間実施しています【佐賀市、佐賀市小型モビリティ推進プラットフォーム】
- FC アシスト自転車の走行実証開始【敦賀市、トヨタ紡織】
- 産業界のモビリティ課題解決に向けて協業強化 ～ラストワンマイル配送向けなど、幅広い DX ソリューション/サービスの共同開発・提供を推進～【パイオニア、ゼンリン】
- 和歌山線へサービス拡充！「わかやま線サイクルトレインプラス」実証実験がスタートします【JR 西日本】
- 「鳥取うみなみサイクルトレイン」の運行開始（期間限定）！【鳥取県、JR 西日本】
- サイクルトレイン「みのクル」を運行します！【JR 東海】
- モビリティ DX 促進のための無人自動運転開発・実証支援事業に採択ロボットタクシーとトラックの開発を加速【ティアフォー】
- 持続可能な移動の実現に向けた協業に関する覚書を締結【KG モーターズ、損害保険ジャパン】
- 車道を走行する無人自動配送ロボットにオープン型宅配便ロッカー「PUDO ステーション」を搭載した移動型宅配サービスの実証実験を北海道石狩市で開始【京セラコミュニケーションシステム、ヤマト運輸、PackcityJapan】
- 北海道石狩市の車道で無人自動配送ロボットを活用したデリバリーサービスの実証実験を開始【京セラコミュニケーションシステム、出前館】
- 電動トーイングカーを那覇空港で運用を開始しました【JAL、JTA、TLD】
- 自動運転車両ソフトウェア開発の米 AppliedIntuition と戦略的提携契約を締結～5 年間にわたるパートナーシップ契約により、レベル 4 自動運転トラックを共同開発へ～【いすゞ自動車、AppliedIntuition】

3. イベント情報

- 第 9 回 おでかけ交通博 2024 in つるおか【2024/10/4】
- うえだ鉄道まつり2024【2024/10/5】
- 魅力いっぱい！交通フェスタ 2024【2024/10/5】

- 本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！【2024/10/5～11/16】
- 第31回「鉄道フェスティバル」in 東北【2024/10/6】
- 津まつり【2024/10/11-13】
- 第31回「鉄道の日」【2024/10/13】
- 第31回「鉄道フェスティバル」【2024/10/13-14】
- 地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト【2024/10/11-2025/1/20】

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

2. ニュース／トピックス

●第二回国土交通省「交通空白」解消本部を開催しました！ ～「地方の足」「観光の足」の状況と今後の取組み等について～【国土交通省】

国土交通省は、全国各地で、タクシー等を地域住民や来訪者が使えない「交通空白」の状態を早急に解消するため、7月17日に国土交通省「交通空白」解消本部を設置しました。「交通空白」の解消に向けて早急に対応していくため、9月4日に“第2回国土交通省「交通空白」解消本部”を実施し、「地域の足」「観光の足」の現状と対策などについて検討しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000381.html

●第23回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】

国土交通省は、第23回「日本鉄道賞」の受賞者を決定しました。「日本鉄道賞」は、「鉄道の日」創設の趣旨である鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的としており、鉄道に関する優れた取組みに対して表彰するものです。受賞者は以下です。

【日本鉄道大賞】

○西日本旅客鉄道株式会社

「特急「やくも」～沿線の文化・風景・自然とお客様、鉄道が交感する列車～」

【日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞】

○RailDiMeC 研究会

「鉄道の災害医療への活用（病院列車構想）」

○九州旅客鉄道株式会社

「ATS-DK をベースとした GOA2.5 自動運転実現について」

○宇都宮市、芳賀町、宇都宮ライトレール株式会社

「HELLO,NEWCITY.芳賀・宇都宮 LRT ライトライン」

○東武鉄道株式会社

「『挑戦』と『協創』により沿線地域のすばらしさを発信する新たなフラッグシップ特急～プロジェクト「SPACIAX」～」

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000208.html

●「鉄道車両における次世代バイオディーゼル燃料の実証・評価」について営業列車で走行試験を行っています ～国内初の100%次世代バイオディーゼル燃料による走行試験の実施～【国土交通省】

西日本旅客鉄道において、2024年9月より、100%次世代バイオディーゼル燃料による走行試験を実施しています。

国土交通省は、2022 年度より、「鉄道技術開発・普及促進制度」を活用して、(公財)鉄道総合技術研究所及び JR7 社を構成員とする共同技術開発体への委託により、非電化区間での 100%次世代バイオディーゼル燃料の導入を可能とするための技術開発を行っています。これまでの開発実績(2022 年度:エンジン性能試験、2023 年度:試運転での走行試験)を踏まえ、2024 年 9 月より西日本旅客鉄道において、100%次世代バイオディーゼル燃料による営業列車での走行試験を開始しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo07_hh_000262.html

●船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】

国土交通省海事局は、中・長距離フェリー、RORO 船に係る積載率の動向を公表しました。また、今回から、内航コンテナ船社の協力を得て、モーダルシフトの一翼を担う内航コンテナ船の積載率の動向についてもあわせて公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji03_hh_000184.html

●第 49 回 EST 創発セミナーin 陸前高田〔東北〕【陸前高田市、国土交通省東北運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会とエコモ財団は、環境的に持続可能な交通(EST)の普及推進を図ることを目的に、11 月 29 日に第 49 回 EST 創発セミナーin 陸前高田を開催します。今回のセミナーでは、環境的にも社会的にも持続可能な地域交通に関する講演、陸前高田市での取組紹介とともに、意見交換を通じて陸前高田市での住民生活におけるグリス口活用や脱炭素社会に向けた今後の展開、高齢化が進む他地域でのモビリティの可能性などについて議論します。

イベント当日の午前中に現地見学会を開催を予定しています。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu79.html>

●9 月 20 日は「バスの日」です ～バスに親しんでいただくための様々なイベントを開催！～【中部運輸局】

毎年 9 月 20 日は「バスの日」です。中部運輸局管内各県では、バス業界のイメージアップや利用促進を目的とした啓発活動や関連イベント等が行われています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/jikou2024090401.pdf>

●全国初！自家用車による夜間の移動を補完する実証実験「庄原版ナイトタイムデマンドプロジェクト」開始！【中国運輸局】

中国運輸局は、全国で初めてとなる「自家用自動車有償運送の許可」を行いました。

本プロジェクトは、庄原地域における夜間の移動手段を補完する目的で、バス事業者による安全管理の下に、自家用車や一般ドライバーを活用した、夜間乗合デマンドタクシーの実証運行であり、9月19日から実証実験が開始されました。

https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02042.html

2024年度自動運転バス一般試乗(市街地ルート)未来のバス『自動運転バス』の実証実験を実施しました【常滑市、愛知県、アイサンテクノロジー、知多乗合、SOMPO リスクマネジメント、東海理化、ティアフォー、日本工営都市空間】

常滑市と愛知県は、共同でりんくう町周辺エリアにおける自動運転バスの実証実験を実施しました。

愛知県は、2017年度から常滑市内で自動運転の実証実験を行ってきました。2023年度には、常滑市も国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用し、実証実験を開始しました。

<https://www.city.tokoname.aichi.jp/kurashi/1006388/1007426/1007764.html>

●瀬戸内の離島における初の自動運転バスの走行実証を開始 ～20年先の小豆島をつくるプロジェクト～【土庄町、JTB、小豆島交通、schemeverge、BOLDLY】

土庄町、株式会社JTB、小豆島交通株式会社、schemeverge株式会社、BOLDLY株式会社は、小豆島の持続的な発展に向け、アクセルやハンドルを自動で制御してドライバーをサポートする「レベル2」の段階での自動運転バスの走行実証を実施しました。

自動運転バスは小豆島の主要港の一つである土庄港から人気観光地のエンジェルロード間を走行し、誰でも利用可能です。島民や観光客からの需要が多いルートにて実施し、実際のニーズを把握することで、小豆島における交通課題の解決を目指します。

https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2024/08/30_shodoshima-autonomous-bus.html

●予約型乗合タクシー<シティモビすずか>の実証運行を行っています【鈴鹿市】

鈴鹿市は、公共交通機関を利用した移動が困難な箇所があることから地域の実情に応じた適正な交通手段を検証するため、石薬師・久間田・一ノ宮地域において、予約型乗合タクシー「シティモビすずか」の実証運行を開始しました。予約型乗合タクシー「シティモビすずか」は、事前に予約した乗合タクシーで決められた停留所の間を移動する公共交通です。

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/douro/1011212/1013936/index.html>

●シェアリングモビリティ事業について【宇都宮市、LUUP】

宇都宮市は、誰もが便利に移動ができるよう、鉄道駅やバス、ライトラインなどの公共交通を降りてから目的地までのラストワンマイルの移動手段の充実に向けて、2022-2023年度に電動アシスト自転車等によるシェアリングモビリティの実証実験に取り組んできました。

2024年度からは、行政が必要な支援を行いながら、民間事業者が運営主体となって「宇都宮市シェアリングモビリティ事業」を実施します。

<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kurashi/kotsu/1032102/index.html>

●中野地区における次世代モビリティ実証事業について【双葉町】

双葉町は 2024 年 8 月 23 日より、双葉町中野地区における次世代モビリティ実証事業を官民連携により開始しました。双葉町来訪者向けに次世代モビリティを貸し出すことで、中野地区の回遊性向上を図ります。

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/item/15395.htm#pagetop>

●「電動キックボードシェアリングサービス」の社会実証を 3 か月間実施しています【佐賀市、佐賀市小型モビリティ推進プラットフォーム】

佐賀市小型モビリティ推進プラットフォームは、電動キックボードの利用状況、回遊性の向上、交通行動の変化、安全性、事業の採算性等について検証し、多様なモビリティ導入の有効性及び課題を明らかにすることを目的に、「電動キックボードシェアリングサービス」の社会実証を開始しました。

<https://www.city.saga.lg.jp/main/96780.html>

●FC アシスト自転車の走行実証開始【敦賀市、トヨタ紡織】

トヨタ紡織株式会社は、敦賀市と連携し、小型水素発電システムを搭載した FC アシスト自転車の走行実証を開始しました。この取組みは、敦賀市が水素サプライチェーン構築に向けて取り組んでいる、水素エネルギーに関する調査・研究の一環として行われます。

FC アシスト自転車はトヨタ紡織のコア技術である精密プレス技術を活用して開発した水素発電システム「ハイドロジェンパワーシステム」を搭載した自転車です。水冷式熱マネジメントシステムを採用し、システム内に水を循環させて、水素タンクの保温と FC スタックの冷却を同時に行うことでシステム全体の小型化を実現しました。

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/240828-1.html>

●産業界のモビリティ課題解決に向けて協業強化 ～ラストワンマイル配送向けなど、幅広い DX ソリューション/サービスの共同開発・提供を推進～【パイオニア、ゼンリン】

パイオニア株式会社と株式会社ゼンリンは、モビリティ課題の解決に向けた協業の取組みを強化し、新たな DX ソリューション/サービスの開発、提供を推進します。

両社は、モビリティ/エネルギー分野における脱炭素社会の実現に向けた取組みを支援する目的で 2022 年 8 月にパートナーシップ契約を締結し、EV 向けの航続距離算出や最適ルート算出、EV 導入シミュレーションなど、両社アセットを活用した EV ソリューション/サービスの提供を行ってきました。配送やタクシー、巡回メンテナンス、警備、訪問介護などにおける「ドライバー不足」「労働環境の悪化」「交通事故」「環境負荷」といった産業界が抱えるさまざまなモビリティ課題の解決を目的にパートナーシップを強化し、さらに幅広い DX ソリューション/サービスの開発・提供に取り組めます。

https://jpn.pioneer/ja/corp/news/press/index/2900/rel=_

●和歌山線へサービス拡充！「わかやま線サイクルトレインプラス」実証実験がスタートします【JR 西日本】

西日本旅客鉄道株式会社は、きのくに線に続き和歌山線でも「追加料金不要」「自転車そのまま」で乗車可能な「わかやま線サイクルトレインプラス」の実証実験をスタートします。日曜・祝日限定「完全予約制」のサービスです。きのくに線に加え、和歌山線も合わせるとサイクルトレインの利用区間は 250km を超えました。

https://www.westjr.co.jp/press/article/items/240917_00_press_Wakayamalinecycletrainplus.pdf

●「鳥取うみなみサイクルトレイン」の運行開始（期間限定）！【鳥取県、JR 西日本】

鳥取県は、全県域でのサイクリストの聖地化及び「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート指定を目指し、サイクルツーリズムの推進に取り組んでおり、サイクルコース「鳥取うみなみロード」と並走して走る山陰本線鳥取～米子間にて、自転車をそのまま列車に乗せることのできる「鳥取うみなみサイクルトレイン」を開始します。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/293007.htm>

●サイクルトレイン「みのクル」を運行します！【JR 東海】

JR 東海は、市川公園リニューアルを記念し YAMANASHIMTB 山守が主催するマウンテンバイクイベントに合わせて、自転車を解体せずに列車にそのまま乗り込むことができるサイクルトレイン「みのクル」を、身延線南甲府駅と東海道本線御厨駅・静岡駅から市川公園最寄りの市川大門駅に向けて運行し、実証実験を行います。

https://jr-central.co.jp/news/release/_pdf/000043813.pdf

●モビリティ DX 促進のための無人自動運転開発・実証支援事業に採択ロボットタクシーとトラックの開発を加速【ティアフォー】

ティアフォーは、経済産業省による令和 5 年度補正予算「モビリティ DX 促進のための無人自動運転開発・実証支援補助金」に応募し、採択されました。本補助金を活用し、タクシーサービスの社会実装に向けた「自動運転移動サービス用車両開発事業」と、物流サービスの社会実装に向けた「自動運転トラック開発事業」を推進します。

https://tier4.jp/media/detail/?sys_id=2k5BI5ba08Gg3kxWtHXgqQ&category=NEWS

●持続可能な移動の実現に向けた協業に関する覚書を締結【KG モーターズ、損害保険ジャパン】

KG モーターズ株式会社と損害保険ジャパン株式会社は、開発中の小型モビリティロボット「mibot」による持続可能な移動の実現に向けて、協業に関する覚書を締結しました。両社が持つデータやノウハウを共有し、MaaS 領域での超小型 EV の実用性向上と安全運用を実現

するため、協業に関する覚書を締結しました。

<https://kg-m.jp/collaboration-with-sompojapan/>

●車道を走行する無人自動配送ロボットにオープン型宅配便ロッカー「PUDO ステーション」を搭載した移動型宅配サービスの実証実験を北海道石狩市で開始【京セラコミュニケーションシステム、ヤマト運輸、Packcity Japan】

京セラコミュニケーションシステム株式会社とヤマト運輸株式会社と Packcity Japan 株式会社は、車道を走行する中速・中型無人自動配送ロボットにオープン型宅配便ロッカー「PUDO ステーション」を搭載した移動型宅配サービスの実証実験を、北海道石狩市緑苑台東地区の一部エリアで 9 月 11 日から開始しました。

<https://www.kccs.co.jp/news/release/2024/0911/>

●北海道石狩市の車道で無人自動配送ロボットを活用したデリバリーサービスの実証実験を開始【京セラコミュニケーションシステム、出前館】

京セラコミュニケーションシステム株式会社と株式会社出前館は、車道を走行する中速・中型無人自動配送ロボットを活用し、「出前館」より注文された商品を配達するデリバリーサービスの実証実験を、北海道石狩市緑苑台東地区の一部エリアで 8 月 22 日から開始しました。

<https://www.kccs.co.jp/news/release/2024/0822/>

●電動トーイングカーを那覇空港で運用を開始しました【JAL、JTA、TLD】

日本航空株式会社は、8 月 19 日より、CO₂ 排出削減や騒音の軽減が期待される電動で駆動するトーイングカーを本邦で初めて導入し、本格運用を開始しました。

トーイングカーは、航空機の出発時にプッシュバックや駐機場間での移動に使用される航空機牽引車です。

これまで JAL グループでは、貨物用のけん引車両でプロペラ機をけん引する電動トーイングトラクターを導入していましたが、航空機を牽引するためにはより大きな電力を必要とするため、充電設備の整備が課題でした。那覇空港に充電環境が整ったこと、導入する電動トーイングカーが運用可能なボーイング 737 型機を 14 機保有する日本トランスオーシャン航空株式会社が多数運航していることから、電動トーイングカーの効果を最大限に生かせる環境であると判断し、那覇空港での運用開始を決定しました。

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202408/008249.html>

●自動運転車両ソフトウェア開発の米 Applied Intuition と戦略的提携契約を締結 ～5 年間にわたるパートナーシップ契約により、レベル 4 自動運転トラックを共同開発へ～【いすゞ自動車、Applied Intuition】

いすゞ自動車株式会社と Applied Intuition,Inc.は、レベル 4 自動運転トラックを共同で開発することなどを目指す戦略的提携契約を締結しました。いすゞと Applied Intuition は最大 5 年間にわたるアライアンス戦略でレベル 4 自動運転トラックの共同開発を加速させます。

https://www.isuzu.co.jp/newsroom/details/20240827_1.html

3. イベント情報

●第9回 おでかけ交通博 2024in つるおか

日時:2024年10月4日(金) 午前の部 10:30~12:00/午後の部 13:00~17:00

場所:東京第一ホテル鶴岡(鳳凰の間、鶴の間)

主催:東北運輸局交通政策部交通企画課、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/newpage/ks-odekake-kaisai.html>

●うえた鉄道まつり2024

日時:2024年10月5日(土)10:00~16:00

場所:上田城跡公園芝生広場西側

主催:しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、JR 東日本(株)

https://www.jreast.co.jp/press/2024/nagano/20240913_na01.pdf

●魅力いっぱい！交通フェスタ 2024

日時:2024年10月5日(土)10:00~16:00

場所:勾当台公園いこいのゾーン(地下鉄南北線 勾当台公園駅隣接)

主催:仙台市、仙台市交通局

<https://www.miyagi-kankou.or.jp/kakikomi/detail.php?id=13351>

●本物の列車や運転シミュレーターで列車運転を体験しよう！

主催:「鉄道の日」九州実行委員会、国土交通省九州運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000330180.pdf>

■列車運転シミュレーター 西日本鉄道

日時:10月5日(土)①9:30~10:30 ②11:00~12:00

場所:電車教習所(福岡県久留米市宮の陣)

対象:小学1年生~3年生(保護者同伴)

■列車運転シミュレーター 日本貨物鉄道

日時:10月19日(土)①10:00~12:00 ②13:00~15:00

場所:門司機関区(訓練室)

対象:小学3年生~6年生(保護者同伴)

■列車運転体験 筑豊電気鉄道

日時:10月19日(土)①10:00~12:00 ②14:00~16:00

場所: 楠橋車庫内(福岡県北九州市八幡西区)

対象: 小学3年生～6年生(保護者同伴)

■列車運転体験 鹿児島市交通局

日時: 10月26日(土)①9:00～12:00 ②13:00～16:00

場所: 神田車両基地(鹿児島県鹿児島市上荒田町)

対象: 小学3年生～6年生(保護者同伴)

■列車運転シミュレーター 西日本旅客鉄道

日時: 11月16日(土)①10:00～12:00

場所: 博多駅構内

対象: 小学1年生～6年生(保護者同伴)

●第31回「鉄道フェスティバル」in 東北

日時: 2024年10月6日(日)10:00～15:00

場所: 仙台貨物ターミナル駅

主催: 東北地区「鉄道の日」実行委員会

https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/td/00001_00335.html

●津まつり

日時: 10月11日(金)～10月13日(日)

場所: 津新町駅東側

主催: 津まつり実行委員会

https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/td/00001_00335.html

●第31回「鉄道の日」

日時: 2024年10月13日(日)9:30～16:00

場所: オープニング会場: 金山南ビル屋外イベントスペース(東側出入口前広場)

第1会場: 金山総合駅連絡通路橋イベント広場

第2会場: 金山南ビル1階屋内イベントスペース(東・西)

主催: 「鉄道の日」中部実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/tethudo2024082101.pdf>

●第31回「鉄道フェスティバル」

日時: 2024年10月13日(日)、14日(月・祝)10:00～17:00

場所: お台場イーストプロムナード「石と光の広場」「花の広場」

主催: 「鉄道の日」実行委員会

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000206.html

●地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト

日時:10月11日、25日、11月8日、22日、12月6日、20日、1月10日、20日

いずれも金曜日の18:00～21:10

場所:ハイブリッド開催((名古屋大学)+オンライン配信)

主催:地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト事務局

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kyoso.htm>

5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp(担当:岡本)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>